

## 平成 27 年度 滋賀県がん診療連携協議会・第 2 回診療支援部会 議事概要

- 日 時** 平成 27 年 10 月 21 日 (水) 18 時 00 分～19 時 15 分
- 場 所** 滋賀医科大学医学部附属病院 4 階 第 4 会議室
- 出席者** 滋賀医科大学医学部附属病院 (部会長：谷消化器外科診療科長)、滋賀県立成人病センター (打田主査)、公立甲賀病院 (沖野院長代行)、市立長浜病院 (伏木放射線科責任部長)、高島市民病院 (小泉副院長)、大津市民病院 (青木副院長)、草津総合病院 (ト部副院長)、済生会滋賀県病院 (重松消化器内科 副院長(代理：西村))、近江八幡市立総合医療センター (石川消化器内科部長)、東近江総合医療センター (目片副院長)、滋賀県歯科医師会 (松井公衆衛生部会副部長)、滋賀県薬剤師会 (中嶋介護福祉委員会委員)、滋賀県歯科衛生士会 (山本監事)、滋賀県放射線治療連絡協議会 (芥田会長)、滋賀県健康医療福祉部 (鈴木健康医療課がん・疾病対策室主席参事)
- 【オブザーバー】** 滋賀県がん患者団体連絡協議会 (菊井会長、藤田さん、奥井さん)
- 【部会事務局】** 滋賀医科大学医療サービス課 (浅井課長、黒瀬課長補佐)
- 欠席者** 大津赤十字病院 (副部会長：土井副院長)、滋賀県立成人病センター (副部会長：川上副院長)、彦根市立病院 (來住診療局主任部長)、長浜赤十字病院 (駒井消化器内科部長)、滋賀県医師会 (重永理事)、滋賀県看護協会 (三上専務理事)、滋賀県放射線技師会 (山田理事)、滋賀県病院薬剤師会 (寺田会長)
- 【準部会員】** 滋賀医科大学医学部附属病院 (醍醐腫瘍センター長)

### 1. 報告

部会長交代により谷部会長から、挨拶と自己紹介があり、続いて新規部会員となられた東近江総合医療センター 目片副院長の紹介があった。

また、がん患者団体連絡協議会から引き続きオブザーバーとして 3 名の方々に参加していただいていることの紹介があった。

前回 6 月 29 日の議事概要を確認した。

### 2. 議題

#### (1) 平成 27 年度の取組について

##### 1) 各病院の専門性を活かした分担のための機能調査について (資料 1)

各拠点病院、支援病院のがんに関する情報を、県のホームページのがん情報サイトに掲載して、一般の方や医療従事者が閲覧できるように進めているところである。

具体的には、各病院が厚生労働省に毎年 (10 月) 提出している現況報告書の各項目を、他府県のがん情報サイトに掲載されている項目とも比較検討して掲載項目を選択決定することとして、平成 26 年度に項目を選択していただき纏めたところである。

掲載項目については、現況報告書を利用することは既に決定していただいた事項であるが、単に病院の規模の比較ではなく、治療に対する強み（特色）のアピールとして提供することで考えを統一し、患者さん並びに医療従事者の両方が利用できるものとしたいと考えているところである。

資料1について次の説明をした。

昨年度、現況報告書の中身を利用して、県民の方々、医療従事者の方々に、ホームページの中で情報公開をしようということで、昨年度1年間をかけて発信すべき項目を洗い出していただき、公開したらよいのではないかと項目を集計したものが資料1のAの1枚目になる。

2枚目は、前回、見せ方について紙ベースではわかりにくいというご意見があったので、前回のエクセル表を画面で見えていただき説明した。

3枚目以降（B）は、実際項目を見たいと思って選択した場合に、どういう画面が展開するかということがまだ機能していなかったため、今回、現況報告をそのまま資料にしている。この中で必要なもの、必要でないものを今後詰めていく必要があると思っている。

なお、部会事務局で調整可能な表は、見ていただいているようなエクセルの表程度までしかできないので、ホームページに掲載していくものについては、予算確保のうえ専門の方にしていただく必要があると考えているのでよろしく願いしたい。

(滋賀県) 本年度の県のがんに関するホームページは、現在、具体的に作業をする業者の選定が終わり11月から作業を始める予定になっている。メインは特に相談支援等に関する部分の変更等としているが、リンクして病院の強みとかがホームページから見えることになるので、検討する価値は十分にあると思っている。

(部会員) 今回の資料は前回と同じで、全く進んでいない。前回までに大阪のサイトを見て皆さんが良いのではないかと意見が出ていたと思う。ただ、サイトを調整していくことは困難であるので、実現性を求めるならばプロに依頼した方が良いのではないかと。

(部会長) 大阪方式のサイトを参考にプロに依頼することの検討と予算の依頼をしていくこととするが、昨年度1年間をかけて発信すべき項目を出していただき公開項目を集計しているため、まずはこの形で出来るだけ見やすくして載せていくこととしたい。

前回、患者さん向けとか医療従事者向けとかいろいろ話が進展してしまい最後までまとまりがなかったと思っているので、今回方向性としては両方が利用できるようなものということにして、これで了承いただけるならば、各病院等の担当者にも最新の現況報告等について協力いただいて進めていきたいと考えているのでよろしく願いしたい。

## 2) 先進的（高度）ながん医療について

（資料2）

<http://www.pref.shiga.lg.jp/e/sei jin/gan/kyogikai/map.html>

・27年度第1回部会（6/29）で、滋賀医科大学医学部附属病院腫瘍センター 河合特任助教より、滋賀がん生殖医療ネットワーク（オフネット滋賀）がスタートしたこと、また、6月より滋賀医科大学医学部附属病院母子女性診療科で、がん妊よう性外来が始まったことの紹介があった。今後も、協議会、相談支援部会ともネットワークと連携、協力していくこととしている。

・平成24年度に当部会で取りまとめた、各拠点病院等が実施している先進的(高度)ながん医療については、県のホームページの「がん情報しが」に掲載されているが、更新が滞っているため、見直していただきたい。各病院からの情報提供により掲載しているため、変更があれば事務局までお知らせ願いたい。

## （2）がん情報サイトについて

（資料3）

<http://www.pref.shiga.lg.jp/ganjoho/>

4月より、がん情報サイトが公開された。まだアクセス数が少ないが、前回の部会でお願した、各団体のホームページにリンクを貼っていただいたこともあり、徐々にアクセス数が増加してきている。

今後とも引き続き、各ホームページにリンクを貼っていただく等サイトの広報活動にご協力いただきたい。

(滋賀県)昨年度末に患者団体のサイトと同時期に作り上げ、4月から公開している。

アクセス数は、4～6月は少なかったが、7月以後は増加してきている。

アクセス数が、多いか少ないかに関しての評価はしていないが、順調に伸ばしていく必要があることは共有しているところである。

サイトの改修等をしていくにはプロの力が必要になるため、県では、予算を計上し、業者を選定して11月から本格的に作業を始めることになっている。内容としては大体5つあり、

- ・妊よう性温存等を取り上げること
- ・関係者からの意見集約（アンケート）をすること
- ・各種関係サイトとのリンクを整理しながらあげていくこと
- ・業者からの提案ではあるが、民間の目からみた特集記事を提案したいとのことであるので期待している。
- ・がん情報しがのサイト自体の県民への周知（この部会として出来ることは、各病院のホームページにリンクを貼っていただくことになると思う。）

以上5つの点に関して仕様書を作成してもらい（予算は決まっている）進めていくことになるが、専門性を生かした分担のための機能調査結果のExcelを業者が加工して見やすいようにあげるということは、本年度予算には入っていない。

したがって、さきほどから議論した表をより見やすくシンプルなかたちにして、

とりあえず本年度は掲げて、来年度予算で上乘せするということが実効性のあるやり方と考える。

### (3) 各団体の取組の進捗について

(資料4)

今年度の取組みについて、各団体から次の報告があった。

(滋賀県医師会) 欠席

(滋賀県病院薬剤師会) 欠席 (事前に報告いただいた取り組みを記載)

- ・平成26年度に引き続き、セミナーや講演会を実施し、がん薬物療法の基礎情報や最新情報を継続的に提供する。
- ・病院薬剤師を対象にした症例検討会をさらに充実させ、病院間の相互交流とがんに携わる薬剤師の臨床能力の充実をさらに進める。

(滋賀県薬剤師会)

- ・抗がん剤および無菌調製研修会の開催。来年1~3月に薬局を対象に3回実施する予定にしている。
- ・資料に記載している以下の取組みについても、さらに充実させて引き続き継続させていくこととしている。
  - ・滋賀県薬剤師会認定在宅ホスピス薬剤師のフォローアップの実施
  - ・医療用品共有システムおよび在宅医療推進のための薬局機能情報サイトの継続運用
  - ・滋賀医大や成人病センター等で行われるがん関連研修会への参画
- ・薬剤師会と病院薬剤師会の交流は、年1~2回、薬薬連携会を開催している。  
また、滋賀県薬剤師会会営薬局が滋賀医大に協力いただき、症例検討会に毎週1回参加させていただいている。

(滋賀県歯科医師会)

- ・日本歯科医師会のがん医科歯科連携事業としてDVD形式研修会で、6月25日に実施し、次回は11月5日に実施を予定している。講習受講済みの方にはがん医科歯科連携機関の登録ができるということでリストが出来上がりつつある。
- ・県公衆衛生部の事業として歯科医師等派遣委託事業が行われていて、内容は、歯科医師のいない病院に、県歯科医師会から歯科医師を派遣して口腔ケアを行っていく事業であり、済生会滋賀県病院ではがん患者の周術期の口腔ケアを行っていくことで事業がスタートしている。

(滋賀県歯科衛生士会)

- ・年1回、がんをテーマに研修会を開催している。  
日時：平成28年3月6日(日)13時30分から 場所：ピアザ淡海  
内容：口腔がんについて(仮)
- ・「周術期口腔衛生管理」について、現在は病院を中心に行っているが、今後は各診療所につないでいくという意味でも、衛生士の立場から人材育成するプログラムを作成して、次年度から研修を立上げることを目標にしている。

(滋賀県放射線治療連絡協議会)

- ・例年通り、夏と冬に協議会及び勉強会を開催

・滋賀県放射線治療連絡協議会のホームページを今年度中に立ち上げて、滋賀県情報サイトにリンクすることを目標にしている。

・その他、県内で開催されるがん診療に関する講演会、フォーラム等に、会として協賛して勉強するというスタンスで進めている。

(滋賀県看護協会) 欠席 (事前に報告いただいた取り組みを記載)

・各支部で研修会を計画中。

・その他、看護フェア等でトピックス的に交流会等を検討

(滋賀県放射線技師会) 欠席 (事前に報告いただいた取り組みを記載)

・27年度は学術研修会を2回開催する

第1回 日時：平成27年6月28日 場所：滋賀県立成人病センター  
メインテーマ「肝・胆・膵」

第2回 日時：平成27年11月8日 場所：彦根勤労福祉会館  
テーマ「転移検索検査の紹介・工夫」

#### (4) 診療支援部会の取り組み評価(中間評価)について (資料5)

昨年度の16段階評価から、今年度は4段階評価(A~D)へ変更となった。

全体的な取り組みの進捗について議論した。

- ・まだまだ出来る可能性があるのではないかと思えるのでCではないか。
- ・アクションプランの中間評価は、個別にチェックして、どこができている、出来ていなければどうしたらよいかを評価したらどうか。
- ・各個別目標に対してどうか、全体としてどうか判断していただくことになる。
- ・協議会には6部会があるが、この部会が一番困難な部会で、今後見直していただくためにも個別の評価をして問題点を企画運営委員会にあげていただければどうか。

5項目の取り組みについて個別に検討した。

##### 1. 各病院の機能分担を目指した機能調査(項目の選択)について

今年度1年をかけて項目を決定する取り組みで、先ほど議論いただいたように、専門の方に依頼してきっちり作ってホームページに掲げていくことになるが、それまではつなぎで行くことで了解いただいたところである。

以上より、項目の選択について検討してきているので(B)とする。

##### 2. 先進的(高度)ながん医療について

がん情報しがの中に「がんを治す」という項目があり、その中に最新の治療を受けるという項目があり、各病院から情報を提出していただき、「先進的(高度な)がん医療」として掲載しているが、最近更新が滞っているので(C)とする。

なお、先進的(高度な)がん医療の内容は、各病院からの情報提供により掲載しているので、変更があれば事務局までお知らせ願いたい。

##### 3. 診療支援推進の仕組みの検討等

診療支援部会の当初の目標は、医師の派遣調整を行うことであったが、実際には難しいことから、メーリングリストを活用し、可能な限りの情報を共有する等、取り組みを検討しているため（B）とする。

4. 各団体の取組みを把握していく

年 3 回の部会にて各団体の取組み状況について報告していただき、情報共有も出来ているので（A）とする。

5. ホームページの拡充、メーリングリストの利用によるネットワークの構築

がん情報サイトの拡充と、部会員同士の情報共有を図るため、メーリングリストを作成してはいるが、まだまだ活用しきれていないため（B）とする。

以上より、当部会のアクションプランの中間評価は（B<sup>-</sup>）⇒（B）とすることとした。

## （5）PDCAサイクルについて

（資料6）

診療支援部会のPDCAサイクルのCheck（評価）の中間評価を行う。

当部会のPDCAサイクルの指標は、H25年度に当部会が提案したがん情報サイト「がん情報しが」が4月に立ち上がったことから、サイトを見た人が検索しやすいとか、わかりやすいなどの評価をしていただくことを念頭におき、「サイトの閲覧回数」とした。サイトについては、いろいろな画面が閲覧されており、閲覧数も徐々に増加しているが、まだ始まって半年なので数値目標は難しい。

さらにサイトを閲覧していただくためにも、各団体のサイトにリンクを貼っていただき周知していただくようお願いしたい。

部会員から、機会あるごとにサイトを案内していくことが重要であるとの意見があった。

## （6）その他

1) メーリングリストの活用について

[sinryosien-ml@belle.shiga-med.ac.jp](mailto:sinryosien-ml@belle.shiga-med.ac.jp)（診療支援部会）

セカンドオピニオン、治験情報、各病院並びに各団体からの情報発信等について、可能な限りの情報を共有していただくために、メーリングリストを積極的に活用していただくよう協力依頼をした。

2) がん診療連携協議会及び県から次の報告があった。

①平成27年度滋賀県がん医療フォーラムについて

県のがん医療の強みを前面に出している。

日時 がんと向き合う週間の平成28年2月7日（日）午後1時から4時

場所 滋賀県立男女共同参画センター G-NETしが（近江八幡）

テーマは、

がん治療の最前線と、患者・家族を支援するシステム

—細胞としての“生命”と物語する“いのち”の両立を求めて—

基調講演

国立がん研究センター 若尾文彦がん対策情報センター長

ワークショップ

1～4は、滋賀県における高度な医療

5～8は、滋賀県において特色ある患者、家族支援システム

まとめは、2040年を見据えた滋賀県のがん対策

—患者とともに歩んでゆこう—

## ②がん診療連携協議会の今後の責務

親会議のがん対策推進協議会からの宿題が来ている。

現在、がん診療連携協議会に置いている6部会は、6年前の厚労省の指針に基づいてしゃくし定規に作ったものであり、一定の働きはしてきたが、制度疲弊が起こっているのではないかとの意見があったので、企画運営委員会として部会再編、再構築を考えていくと返事をしている。

6つの部会の内、診療支援部会が一番難しい部会で施策が困難になっているので再編に関してお願いすることになる。

## ③当部会のアクションプラン

各病院の機能分担を目指した機能調査について、3年連続で調査をしているが、調査に基づいて何かをしなければならぬというのがこの部会である。

来年度、再来年度には調査を終わって次に何をするかであるが、滋賀県における医療の集中と選択である。来年度、がん対策基本法が改訂になり、再来年度には国の基本計画が変更され、さらにその翌年に滋賀県のがん対策計画が作られる。その中で国がはっきり言っていることが、選択と集中を文言に入れること、もう一つは、死生観の醸成を入れたいとのことである。これらを考えると、この部会しかないということで、アクションプランのトップに各病院の機能分担を目指した機能調査が掲げられている。これについては最初のときかなり議論があり、もし最初からするならば、弱いもの潰しになるということで、県としては、競争ではなく協調するという立場で調査をすることを考えているところである。あと2年間になるが、選択と集中、より良い滋賀県の医療を求めて且つ医療経済の面も考えて行動しなければならないのでその核になると思う。

あと、部会に関して、滋賀県の強みというのは医大があり、そこで人材育成があり、治験センターがあり、免疫療法等の高度医療の推進等、大学にしかできないことがあるので、こういう部分を診療支援部会の所掌として入れていただき、部会の再編ができないかと企画運営の面から考えているのでよろしくお願いたい。

## ④がん情報サイト

見やすくきれいになってきている。

新しい情報を入れたり、今後現況報告をうまく加工して入れたりしていくので、アップ作業の協力をお願いしたい。

次の意見があった。

(患者会) がん対策がいろいろ進んでいくので患者として嬉しく思っている。

情報サイトの研修会情報は当月分のみを掲載されていると思っていたが、当該つき開催分も含めた年度分を掲載していただいておりますのでありがたい。

本年から参加させていただいたので、アクションプランの25, 26, 27年度に同じ項目が挙がっていることについて、3年間持ち越しなのか、更新という意味なのかよく分からない部分があった。

(滋賀県) この部会にさせていただきたいこととして、各病院で企画開催される講演会、講座等の催しのチラシの片隅に、滋賀県がん情報サイトと患者会のホームページのアドレスを入れておくということをルール付けできればよいのではないかと思っている。また、講演会等の終了後のアンケート用紙の最後に、ホームページがあるのでご活用くださいということを入れていただくとよいのではないかと思っているので、文書を送付される時などに依頼をよろしく願いたい。

3) 次回の当部会の開催は、2月頃として改めて調整することとした。

#### ○配布資料

診療支援部会 部会員名簿

前回議事概要 (平成27年度 第1回診療支援部会 6月29日開催分)

(資料1) 各病院の専門性を活かした医療機能分担のための公表項目

(資料2) 拠点病院・支援病院の実施する先進的(高度な)がん医療について

(資料3) がん情報サイトアクセス状況

(資料4) 平成27年度 各団体取組予定

(資料5) 滋賀県がん診療連携協議会アクションプランシート(診療支援部会)

(資料6) 平成27年度滋賀県がん診療連携協議会PDCAサイクルチェックリスト